


## 地域医療連携室だより vol.14

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室  
TEL 0533-66-2307 FAX 0533-66-2308



暑中お見舞い申し上げます。皆様にはますますご健勝のことと存じます。  
日頃より当院の地域医療連携室をご利用いただき、ありがとうございます。  
このたび、次のとおり診療体制の変更をいたしましたので、  
引き続きのご利用をお願い申し上げます。

### 『 呼吸器科医師 』 2人体制へ

7月6日から常勤医師1名が新たに加わりました。

- はらた かすみ 原田 和美 医師（火・金曜日診療） 新任
- 吉野内 猛夫 医師（月・水曜日診療）

### 『 もの忘れ外来 』 を開設しました

- 開設日 毎月第2・4金曜日の午後2時～4時
- 担当医師 丸井 公軌 医師（精神内科）

※認知症看護認定看護師が、患者・家族への「看護相談」も行います。

### 『 在宅看護フェア 』 のお知らせ

～介護食・介護用品・在宅ケア用品～

愛知県看護協会東三河地区支部との共催で、  
次のとおり開催します。  
ぜひ、お立ち寄りください。

- と き 7月26日(日)  
午前10時～午後3時
- と ころ 蒲郡市民会館（東棟ロビー）
- 内 容 介護食（やわらか・とろみ）の試食  
オムツ・移動用品の展示など

※「お口のケア」をテーマに公開健康講座もあります（午後1時～2時30分）



# 地域医療連携室だより vol.14

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室  
TEL 0533-66-2307 FAX 0533-66-2308

## ケアマネージャー交流会で“顔の見える関係づくり”を

4月15日、ケアマネージャー交流会を開催しました（平成25年度から年2回実施）。ケアマネージャーや介護施設相談員の皆さんのほか、市の長寿課職員も加わって、毎回40名ほどの参加をいただいています。交流会は、日頃お世話になっているケアマネージャーの皆様との貴重な意見交換の場として、反面ピリリと緊張する場でもありますが、私たち地域医療連携室スタッフ内ではすっかり定着してきた楽しみなイベントの一つとなりました。



交流会の目的は、在宅介護の要となるケアマネージャーの皆様との相互理解を深め、病院から在宅へのスムーズな連携を図ることです。

具体的には、当院の役割をご理解いただき、入院から退院までの在宅に向けた支援の流れや具体的かわり、ケアマネージャーの皆様方との情報共有の方法等、また大きくは国の在宅支援に向けた方向性やそのための具体的方策等を市の担当

者を招いて学習することもあります。

毎回、タイムリーなテーマ設定に心がけていますが、今回のテーマは、今年4月から7階西病棟に開設しました『地域包括ケア病棟』を取り上げ、講義やグループワークを行いました。まさにタイムリーなテーマであっただけに、グループワークではより活発な意見交換が行われ、参加者アンケートにおいても「地域包括ケア病棟のことが良くわかった。」といったご意見が多数寄せられました。

交流会を通して、当院に対する率直なご意見を伺うことで、今後の退院支援業務に役立てることが出来ます。また、当院の参加職員からは、「ケアマネージャーさんの名前と顔が一致するようになった。やっぱり顔がわかると話がしやすい。」ごく当たり前のことながら、とても大切なことだと改めて思いました。

入院治療中の患者さんやご家族の方に少しでも安心して療養していただくことが最終目的です。病院から地域への橋渡し役として、今後も連携を深められるような交流会を続けていきたいと思っています。

文責／地域医療連携室 木下